

景況・経営動向調査結果

平成22年度 第3四半期（10～12月）

目 的

長崎市内の景況及び長崎商工会議所会員事業所の経営動向・業況を把握し、地域中小企業の支援策の参考にするとともに、中小企業経営者等に対して経営に必要な情報を提供する

調査対象

本所会員事業所のうち、5産業（建設業・製造業・卸売業・小売業・サービス業）400社
（回答230社、回収率57.5%）

業種構成比及び小規模企業等の占める割合は、本所会員事業所の構成比を参考に抽出した

調査期間

平成22年12月1日～28日

調査方法

郵送・E-mailによるアンケート方式

分析方法

各調査項目について、前年同期及び前期と比較して、「良い」と回答した企業等の割合から、「悪い」と回答した企業等の割合を差し引いた指数（BSI：ビジネス・サーベイ・インデックス）をもとに分析を行った

（注）小規模企業等 = 小規模事業者（個人事業主を含む）

製造業その他 従業員20人以下、商業・サービス業 従業員5人以下

（注）各調査項目について、季節調整は行っていない



中小企業振興部 商工振興課

TEL 095-822-0111

業界の景況感

10～12月期実績は、製造業・非製造業ともにマイナス幅が縮小
 1～3月期の見通しは、製造業で改善、非製造業では悪化見込み

業界の景気動向（景況感）の調査結果をみると、製造業・非製造業ともにマイナス幅が縮小し、全産業ベースでは 31.9（前回（9月）調査比+4.0）と4期連続で改善した。
 一方1～3月期の見通しは、今期実績と比較して製造業で2.4ポイントの改善、非製造業では3.1ポイントの悪化が見込まれており、全産業ベースでは 34.2と2.3ポイントの悪化見込みとなった。

会員事業所の業況（自社業況の総合判断）

10～12月期実績は、製造業で3.7ポイント悪化、非製造業では1.4ポイント改善
 1～3月期の見通しは、製造業で1.2ポイントの改善見込み、非製造業でも1.9ポイントの改善見込み

売上・生産額	今期実績	26.7 (+3.2)	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み
利益・採算面	今期実績	26.8 (-1.7)	来期は製造業で悪化、非製造業では改善見込み
資金繰り	今期実績	14.5 (-0.7)	来期は製造業で横ばい、非製造業では悪化見込み
設備投資	今期実績	19.9 (+0.7)	来期は製造業・非製造業ともに悪化見込み
雇用状況	今期実績	1.8 (-3.0)	来期は過剰感が強まる見込み
経営上の問題点	全産業ベースで7期連続「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」がトップ		

上記括弧内の数字は前回調査比

産業天気図 自社業況の総合判断：前年同期比

	10～12月期 実績		1～3月期 見通し	
	業況	BSI	業況	BSI
全産業		▲ 29.3		▲ 27.5
製造業		▲ 34.5		▲ 33.3
非製造業		▲ 28.6		▲ 26.7
建設業		▲ 42.1		▲ 40.5
卸売業		▲ 24.1		▲ 20.0
小売業		▲ 26.7		▲ 22.9
サービス業		▲ 24.2		▲ 25.4
小規模企業等		▲ 37.8		▲ 32.2

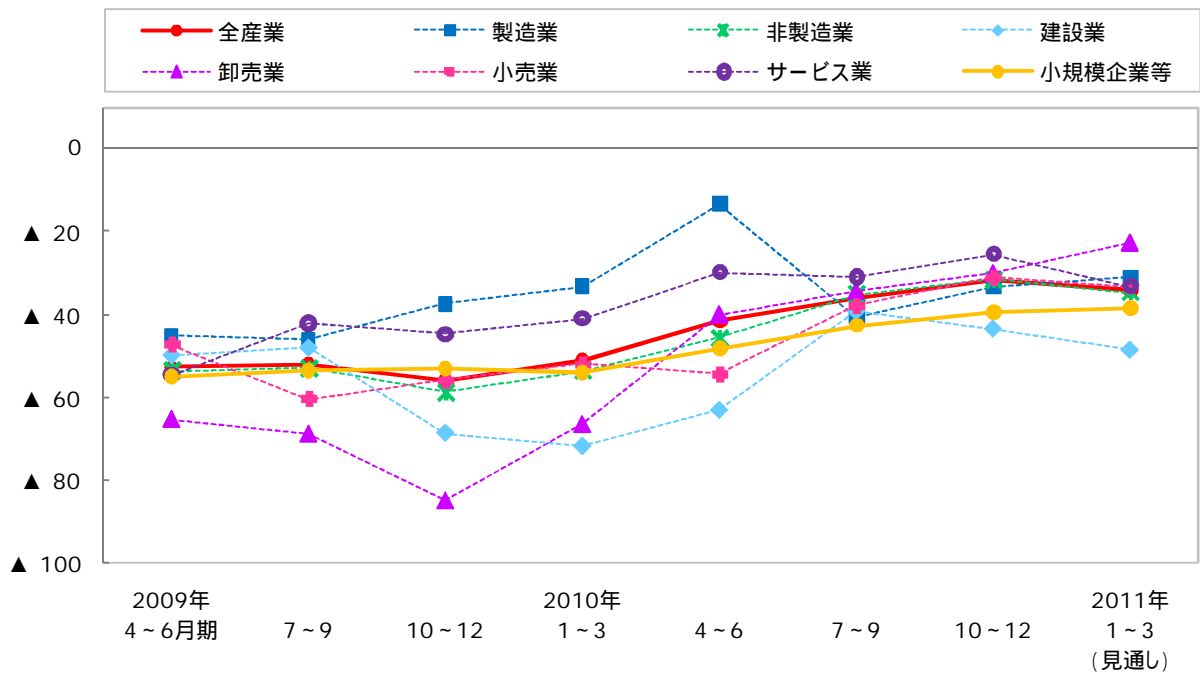
- 凡例 -

天気	業況BSI
	50以上 - 100
	25以上 - 50未満
	0以上 - 25未満
	25以上 - 0未満
	50以上 - 25未満
	100 - 50未満

前年同期（2009年10～12月期）と比較して

2010年10～12月期 実績	2011年1～3月期 見通し
<p>全産業 31.9〔前回調査比+4.0〕</p> <p>業種別にみると製造業で 33.4（同+7.3）と改善。一方、非製造業では建設業（同-4.2）以外の業種で改善し、非製造業全体では 31.6（同+3.6）と4期続けて改善した。結果、全産業ベースでも4期連続の改善となった。</p> <p>また、小規模企業等は 39.5（同+3.2）となり3期続けて改善した。</p>	<p>全産業 34.2〔今期実績比-2.3〕</p> <p>製造業で 31.0と今期と比べて2.4ポイントの改善が見込まれる一方、非製造業では 34.7と3.1ポイントの悪化見込み。中でもサービス業（同-7.9）の悪化幅が最も大きかった。結果、全産業ベースでは2.3ポイントの悪化見込みとなった。</p> <p>また、小規模企業等は 38.4と今期と比べ1.1ポイントの改善を見込んでいる。</p>

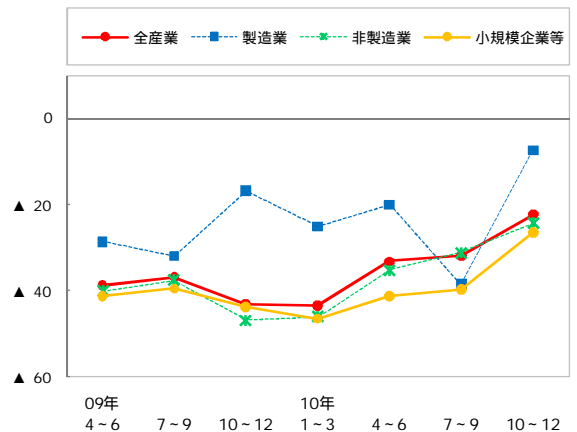
B S I : 「上昇」 - 「低下」



前期（2010年7～9月期）と比較して

2010年10～12月期 実績
<p>全産業 22.2〔前回調査比+9.7〕</p> <p>業種別にみると製造業は 7.4（同+31.1）と過去最低だった前回調査値に比べ大幅に改善した。一方、非製造業では卸売業（同-9.5）以外の業種で改善し、非製造業全体では 24.3（同+6.8）と4期連続で改善した。</p> <p>また、小規模企業等は 26.5（同+13.2）となり3期続けて改善した。</p>

B S I : 「上昇」 - 「低下」



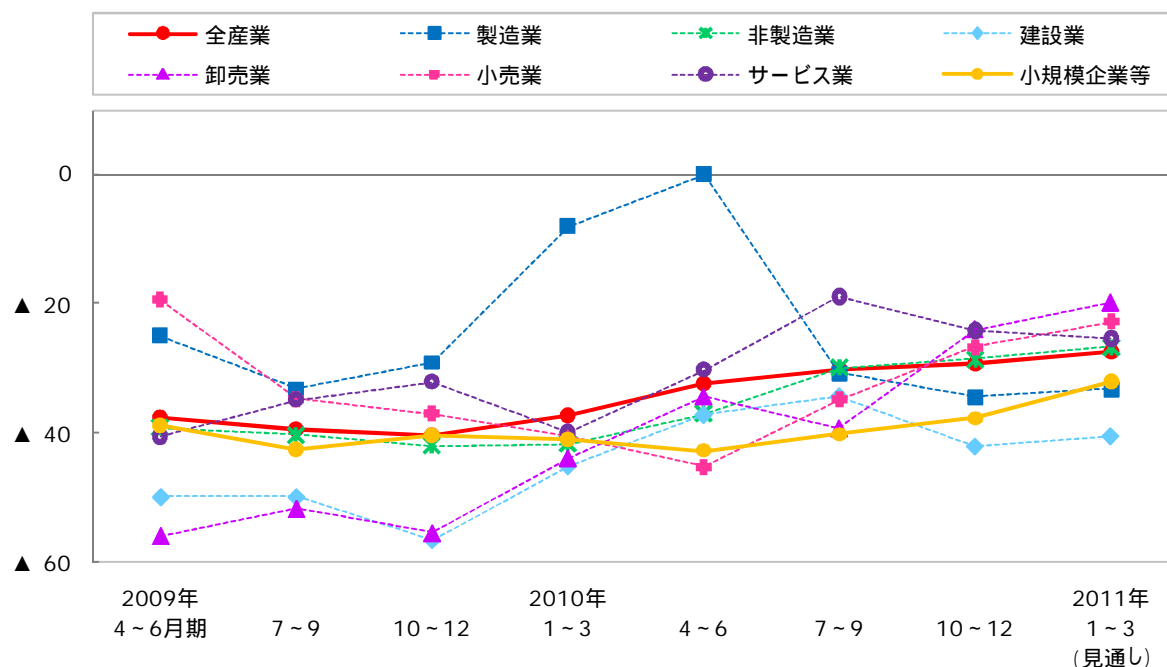
2

自 社 業 況 の 総 合 判 断

前年同期（2009年10～12月期）と比較して

2010年10～12月期 実績	2011年1～3月期 見通し
全産業 29.3〔前回調査比+0.8〕	全産業 27.5〔今期実績比+1.8〕
業種別にみると製造業は 34.5（同-3.7）と2期続けて悪化した。一方、非製造業では卸売業（同+15.3）の大幅改善もあり、28.6（同+1.4）と4期連続で改善した。結果、全産業ベースでは緩やかながら4期連続の改善となった。	製造業は 33.3と今期と比べて1.2ポイントの改善見込み。一方、非製造業ではサービス業（同-1.2）以外の業種で改善が見込まれており、26.7と1.9ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは1.8ポイントの改善見込みとなった。
また、小規模企業等は 37.8（同+2.5）となり2期続けて改善した。	また、小規模企業等は 32.2と今期と比べて5.6ポイントの改善を見込んでいる。

B S I : 「上昇」 - 「低下」



前期（2010年7～9月期）と比較して

2010年10～12月期 実績	B S I : 「上昇」 - 「低下」
全産業 18.0〔前回調査比+9.0〕	
業種別にみると製造業は 19.3（同+10.3）と過去最低だった前回調査値より大幅に改善した。一方、非製造業では建設業（同-5.2）以外の業種で改善し、非製造業全体では 17.9（同+8.7）と2期連続で改善した。	
また、小規模企業等は 26.5（同+9.0）と2期連続で改善した。	

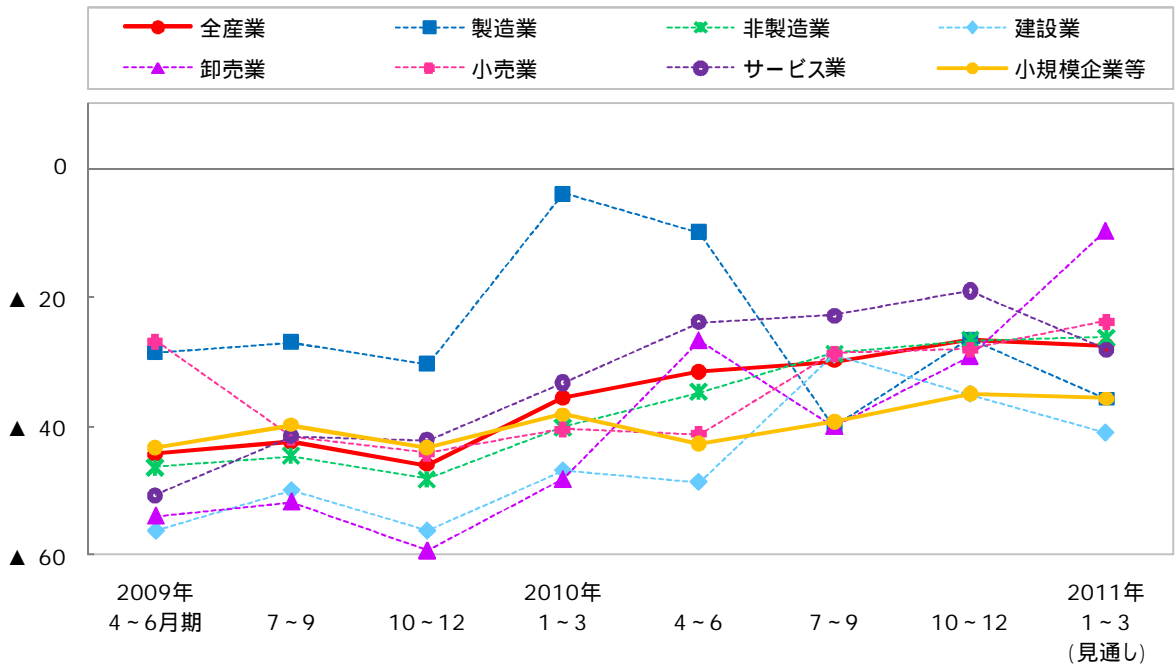
3

売上・生産額

前年同期（2009年10～12月期）と比較して

2010年10～12月期 実績	2011年1～3月期 見通し
全産業 26.7〔前回調査比+3.2〕	全産業 27.5〔今期実績比-0.8〕
業種別にみると製造業は 26.6（同+13.4）で過去最低となった前回調査値に比べ大幅に改善した。一方、非製造業では建設業（同-6.1）以外の業種で改善し、非製造業全体では 26.7（同+2.0）と4期連続で改善した。	製造業で 35.8と今期と比べて9.2ポイントもの悪化が見込まれる一方、非製造業では卸売業で19.4ポイントもの改善が見込まれるなど非製造業全体では 26.3と0.4ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは0.8ポイントの悪化見込み。
また、小規模企業等は 34.9となり、前回調査から4.4ポイント改善した。	また、小規模企業等は 35.7と今期と比べて0.8ポイントの悪化を見込んでいる。

B S I : 「増加」 - 「減少」



前期（2010年7～9月期）と比較して

2010年10～12月期 実績	B S I : 「増加」 - 「減少」
全産業 13.9〔前回調査比+6.7〕	
業種別にみると製造業は 3.6（同+11.8）と改善した。一方、非製造業でも建設業（同-14.0）以外の業種で改善。とりわけ小売業（同+22.3）の大幅改善もあり非製造業全体では 15.3（同+5.9）と3期連続での改善となった。	
また、小規模企業等は 21.8（同+10.5）となり4期続けて改善した。	

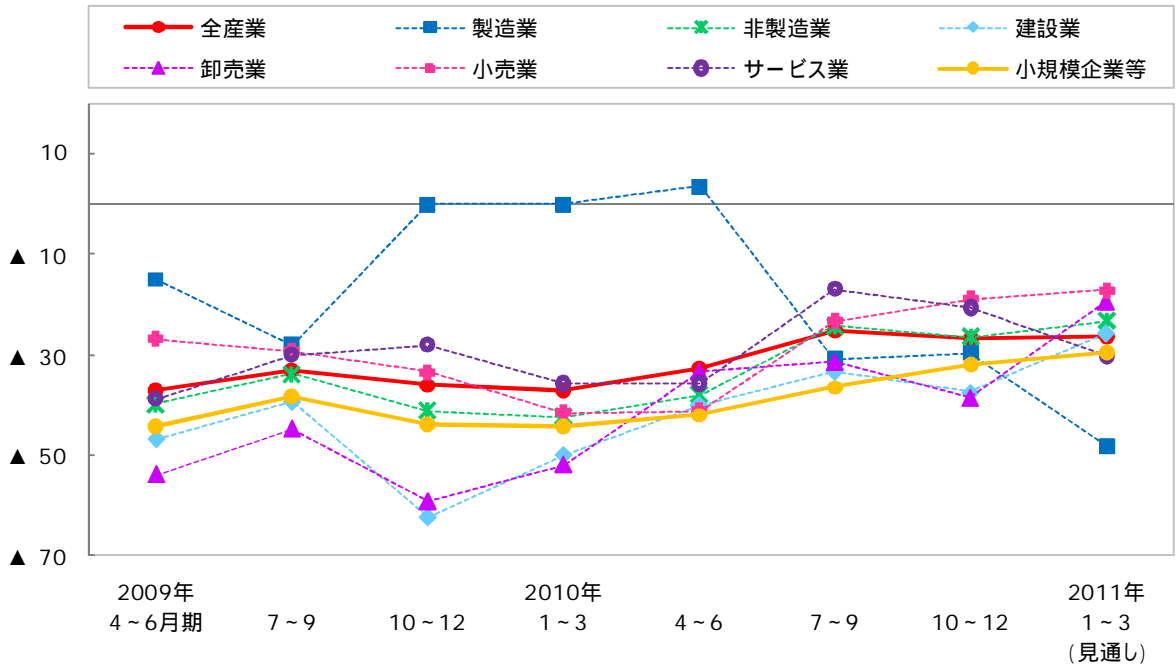
4

利益・採算面

前年同期（2009年10～12月期）と比較して

2010年10～12月期 実績	2011年1～3月期 見通し
全産業 26.8〔前回調査比-1.7〕	全産業 26.3〔今期実績比+0.5〕
業種別にみると製造業は 29.6（同+1.2）と改善した。一方、非製造業では小売業（同+4.4）以外の業種で悪化。中でも卸売業（同-7.2）の悪化幅が最も大きく、非製造業全体では 26.4（同-2.0）と悪化した。 また、小規模企業等は 32.0（同+4.5）となり、3期続けて改善した。	製造業で 48.2と今期と比べて18.6ポイントもの大幅な悪化が見込まれる一方、非製造業ではサービス業（同-9.6）以外の業種で改善見込みとなり、23.4と3.0ポイントの改善見込み。結果、全産業ベースでは0.5ポイントの改善見込み。 また、小規模企業等は 29.5と今期と比べて2.5ポイントの改善を見込んでいる。

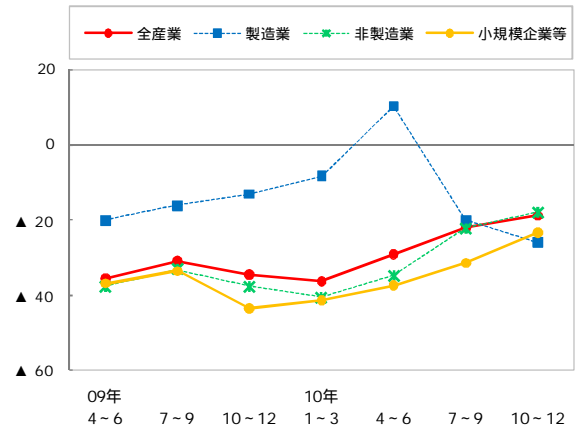
B S I :「好転」-「悪化」



前期（2010年7～9月期）と比較して

2010年10～12月期 実績
全産業 18.8〔前回調査比+3.1〕
業種別にみると製造業は 25.9（同-5.9）と2期続けて悪化した。一方、非製造業では卸売業（同-3.7）で悪化したものの小売業（同+12.0）の大幅改善もあり、非製造業全体では 17.9（同+4.2）と3期連続で改善した。 また、小規模企業等は 23.3（同+8.1）となり4期続けて改善した。

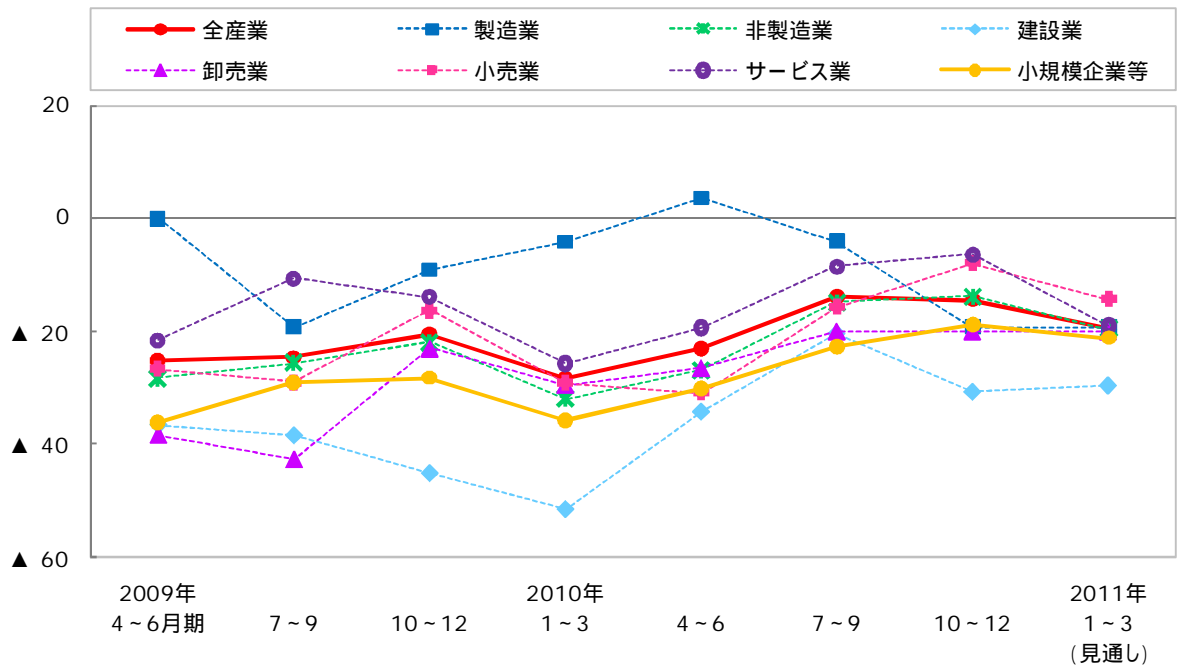
B S I :「好転」-「悪化」



前年同期（2009年10～12月期）と比較して

2010年10～12月期 実績	2011年1～3月期 見通し
全産業 14.5〔前回調査比-0.7〕	全産業 19.7〔今期実績比-5.2〕
業種別にみると製造業で 19.3（同-15.2）とマイナス幅が大幅に拡大し、2期連続で悪化した。一方、非製造業では建設業（同-10.3）以外の業種で改善し、非製造業全体では 13.8（同+1.1）と3期続けて改善した。	製造業は 19.3 と今期と比べて横ばいの見通しとなった。一方、非製造業ではサービス業（同-12.6）で大幅な悪化が見込まれ、非製造業全体では 19.7 と 5.9 ポイントの悪化見込み。結果、全産業ベースでは 5.2 ポイントの悪化見込みとなった。
また、小規模企業等は 18.8（同+3.9）となり3期連続で改善した。	また、小規模企業等は 21.2 と今期と比べて 2.4 ポイントの悪化を見込んでいる。

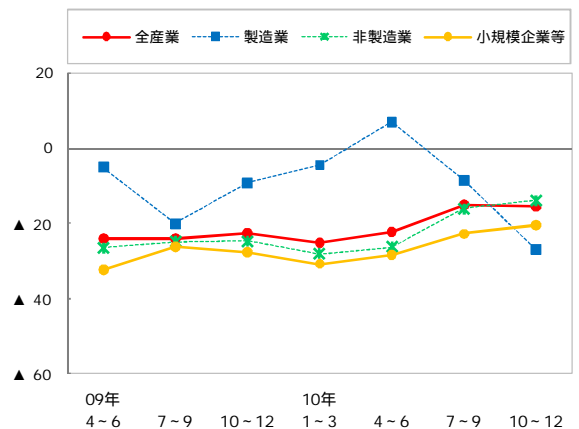
B S I : 「好転」 - 「悪化」



前期（2010年7～9月期）と比較して

2010年10～12月期 実績
全産業 15.5〔前回調査比-0.4〕
業種別にみると製造業は 26.9（同-18.5）と大幅に悪化し過去最低値を更新した。一方、非製造業では建設業（同-7.9）以外の業種で改善し、非製造業全体では 13.9（同+2.1）と3期連続で改善した。
また、小規模企業等は 20.5（同+2.2）となり3期続けて改善した。

B S I : 「好転」 - 「悪化」

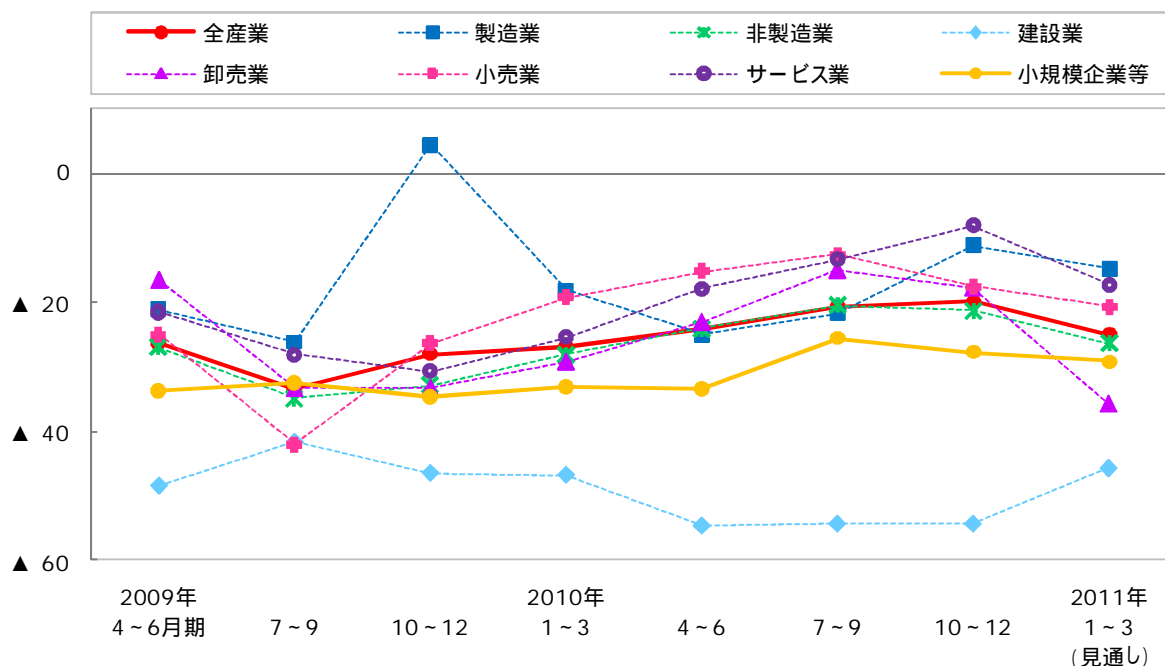


6 設備投資

前年同期（2009年10～12月期）と比較して

2010年10～12月期 実績	2011年1～3月期 見通し
全産業 19.9〔前回調査比+0.7〕	全産業 24.9〔今期実績比-5.0〕
業種別にみると製造業は11.1（同+10.7）と大幅に改善した。一方、非製造業ではサービス業（同+5.3）で改善したものの、21.2（同-0.7）と僅かに悪化。結果、全産業ベースでは19.9（同+0.7）と5期連続での改善となった。 また、小規模企業等は27.7（同-2.2）となり、マイナス幅が拡大した。	製造業で14.8と今期と比べて3.7ポイントの悪化が見込まれる一方、非製造業では建設業（同+8.6）以外の業種で悪化が見込まれ、とりわけ卸売業（同-17.9）で大幅な悪化見込みとなり、非製造業全体では26.3と5.1ポイントの悪化見込み。 また、小規模企業等は29.2と今期と比べて1.5ポイントの悪化を見込んでいる。

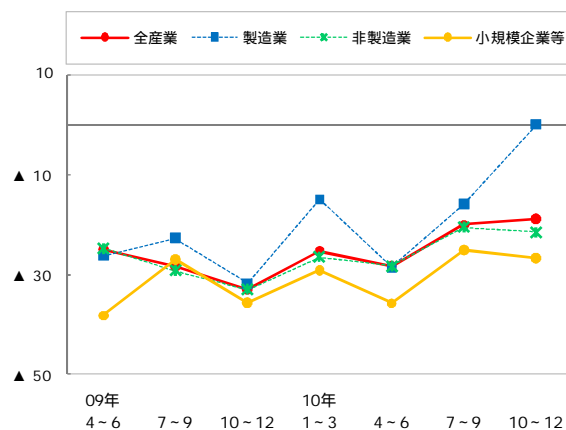
B S I : 「増加」 - 「減少」



前期（2010年7～9月期）と比較して

2010年10～12月期 実績
全産業 18.9〔前回調査比+1.2〕
業種別にみると製造業は0.0（同+16.0）と大幅に改善した。一方、非製造業ではサービス業（同+6.6）で改善したものの小売業（同-8.0）で悪化するなど、非製造業全体では21.6（同-1.0）と悪化した。 また、小規模企業等は26.8（同-1.6）と悪化した。

B S I : 「増加」 - 「減少」

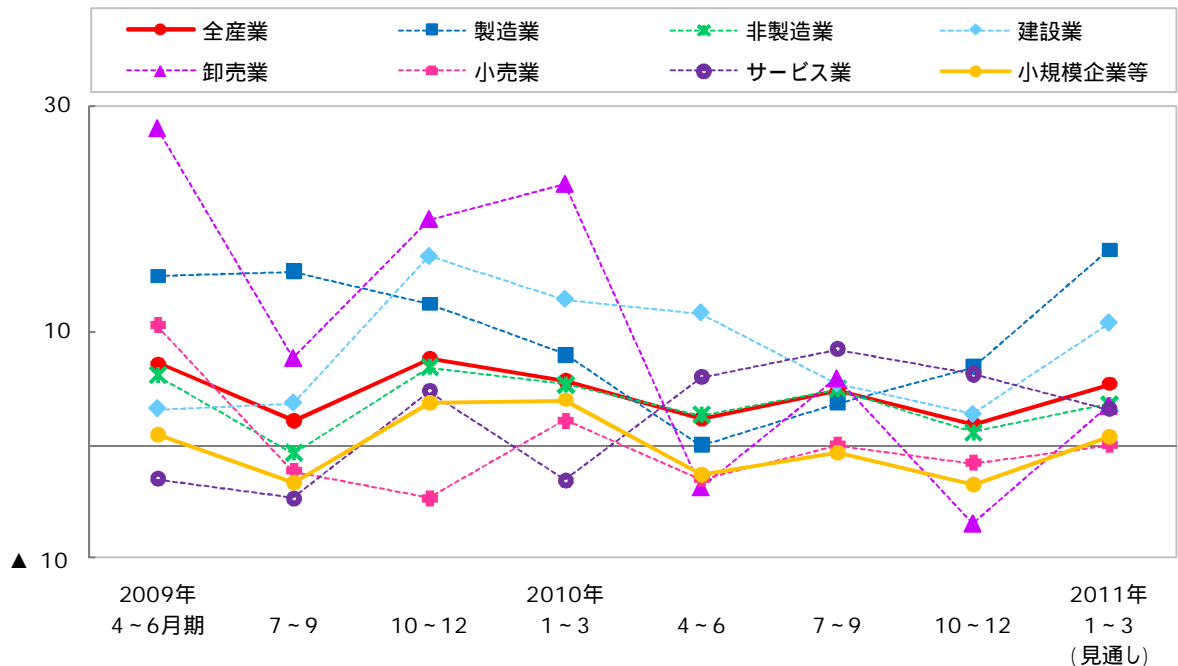


7
雇
用
状
況

前年同期（2009年10～12月期）と比較して

2010年10～12月期 実績	2011年1～3月期 見通し
全産業 1.8〔前回調査比-3.0〕	全産業 5.4〔今期実績比+3.6〕
業種別にみると製造業は6.9（同+3.2）と「過剰」とする割合が増えた。一方、非製造業では卸売業（同-12.8）・小売業（同-1.6）でマイナス水準（「不足」超）に転じるなど、非製造業全体では1.1（同-3.8）と「過剰」とする割合が減少した。 また、小規模企業等は 3.5（同-2.8）と「不足」とする割合が増加した。	製造業で17.3と今期と比べて「過剰」とする割合が大幅に増える見込み。一方、非製造業ではサービス業で3.2と過剰感が弱まるものの卸売業では過剰感が大幅に強まり、非製造業全体では3.6と「過剰」とする割合が増える見込み。 また、小規模企業等では0.7とプラス水準（「過剰」超）に転じる見通し。

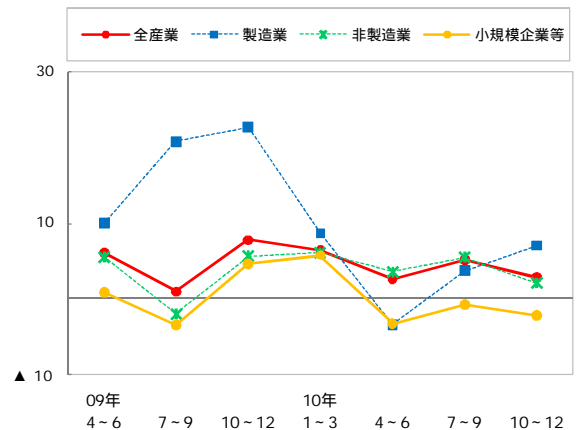
B S I : 「過剰」 - 「不足」



前期（2010年7～9月期）と比較して

2010年10～12月期 実績
全産業 2.8〔前回調査比-2.4〕
業種別にみると製造業で7.1（同+3.4）と「過剰」とする割合が増えた。一方、非製造業では卸売業（同-15.6）でマイナス水準（「不足」超）に転じるなど、非製造業全体では、2.1（同-3.4）と「過剰」とする割合が減少した。 また、小規模企業等は 2.1（同-1.4）となり「不足」とする割合が増加した。

B S I : 「過剰」 - 「不足」

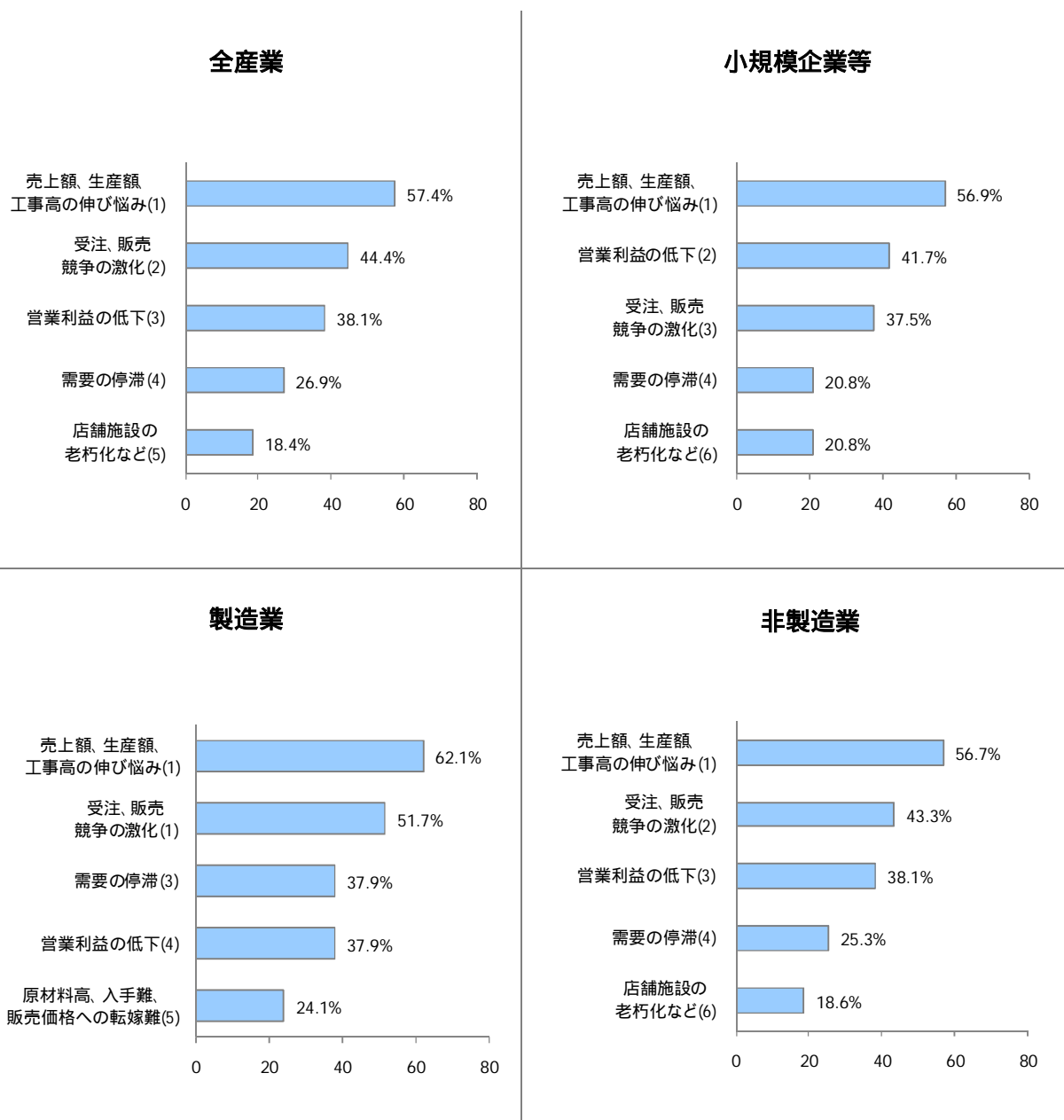


8

経営上の問題点（複数回答）

全産業ベースでみると、トップは前回調査から1.4ポイント上昇し、2009年4～6月期の調査開始以来7期連続で「売上額、生産額、工事高の伸び悩み（57.4%）」となった。特に製造業で14.3ポイント上昇し、その傾向が顕著に現れた。また、第2位から第5位までも前回調査と同じ結果となった。

その他の特徴的な傾向として、「店舗施設の老朽化など」が非製造業で第5位、小規模企業等では「需要の停滞」と並んで第4位となるなど前回調査より順位を上げた。また、建設業では「人件費の増加」、「人件費以外の経費の増加」、「従業員の確保難」の3項目が同率で第4位となった。



各項目の括弧内の数字は前回（9月）調査時の順位